

(別添)

1. 構造名

ケーブル・電線管／ガラス繊維・アクリル系樹脂混入熱膨張性シート充てん／床耐火構造／貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目		仕様
開口部	形状	円形 (φ 122 以下)
	面積	0.01168m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル断面積の総合計の割合)		開口部に対する占積率：43.6%以下
貫通する床の構造等		(1)～(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)鉄筋コンクリート ・厚さ 100 以上 (2)ALC パネル ・厚さ 100以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目		仕様
ケーブル	総有機質量	6.33kg/m以下
	総導体断面積	1176.0mm <sup>2</sup> 以下
	導体（又は芯線）の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質
	規格（種類）	<p>・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>JIS C1502, 1610, 3301, 3306, 3307, 3312, 3315, 3316, 3317, 3323, 3327, 3340, 3342, 3401, 3401 準拠, 3407, 3408, 3503, 3501, 3501 準拠, 3502, 3603, 3605, 3605 準拠, 3606, 3612, 3621, 3662, 3663, 6020, 6021 準拠, 6820, 6850</p> <p>JCS 第224号, 第271号A, 第364号A, 第376号A, 第381号, 第396号, 第396号A, 第402号, 第416号, 第418号B, 第419号A, 第420号, 第421号, 第422号, 第423号, 第426号, 第427号, 第3271号, 第3271号準拠, 第3346号, 第3368号, 第3403号, 第3407号, 第3410号, 第3416号, 第3417号, 第3501号, 第4258号, 第4271号, 第4316号, 第4329号, 第4347号, 第4348号, 第4353号, 第4355号, 第4364号, 第4364号準拠, 第4365号, 第4369号, 第4370号, 第4376号, 第4395号, 第4396号, 第4398号, 第4406号, 第4418号, 第4419号, 第4419号準拠, 第4425号, 第4426号, 第4427号, 第4501号, 第4502号, 第4504号, 第4505号, 第4506号, 第4507号, 第4510号, 第4511号, 第4518号, 第4519号, 第4520号, 第5058号, 第5224号, 第5287号, 第5327号, 第5381号, 第5382号, 第5383号, 第5402号, 第5412号, 第5420号, 第5421号, 第5422号, 第5423号, 第5424号, 第5429号, 第5381号準拠, 第5501号, 第5502号, 第5503号, 第5504号, 第5504号準拠, 第5505号, 第5506号, 第5507号, 第9068号, 第9070号, 第9072号, 第9069号, 第9071号, 第9073号, 第9074号, 第9075号, 第9076号</p> <p>JCSC 第68号, 第70号, 第71号, 第72号, 第74号, 第75号, 第76号, 第3502号, 第5382号, 第9074号, 第9075号, 第9076号, 第3271号準拠, 第9072号準拠</p> <p>LAN ケーブル EIA/TIA 568, EIA/TIA 568A, EIA/TIA 568A 準拠, EIA/TIA 568B, EIA/TIA 568B 準拠, EIA/TIA 568C EIA/TIA IEEE802.3, EIA/TIA IEEE802.3 準拠 ANSI EIA/TIA 568A, ANSI EIA/TIA 568A 準拠, ANSI EIA/TIA 568B, ANSI EIA/TIA 568B 準拠, ANSI EIA/TIA IEEE802.3, IEEE802.3 準拠</p> <p>高周波同軸ケーブル JAN-C-17, MIL-C-17, DSP-C-3102, 電力規格 D-102, JCAA 準拠</p> <p>耐火電線・耐熱電線 平成9年消防庁告示第10号, 第11号</p>
	外径	38以下/本
導体断面積	325mm <sup>2</sup> 以下/本	
本数	総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下かつ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下	

(寸法単位：mm)

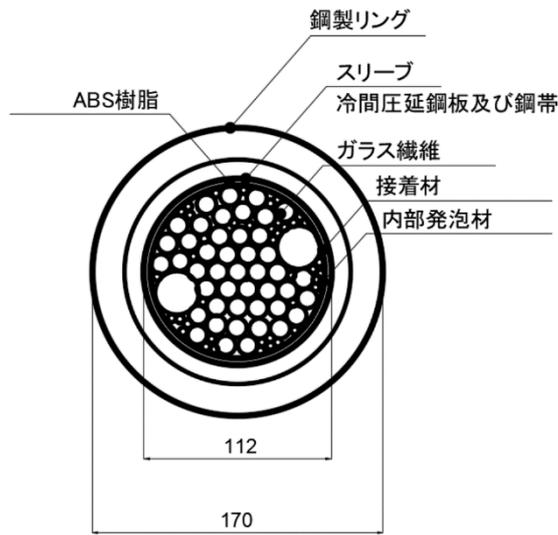
項目	仕様	
ケーブル	絶縁体	(1)～(8)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系 (2)塩化ビニル系 (3)エチレンプロピレンゴム (4)クロロプレンゴム (5)天然ゴム (6)ポリエステル系 (7)ポリエチレン系 (8)ポリアミド系
	シース	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系 (2)塩化ビニル系 (3)エチレンプロピレンゴム (4)クロロプレンゴム (5)天然ゴム
	介在物	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)紙 (2)ジュート (3)ポリエチレン系 (4)ポリプロピレン系 (5)なし

(寸法単位：mm)

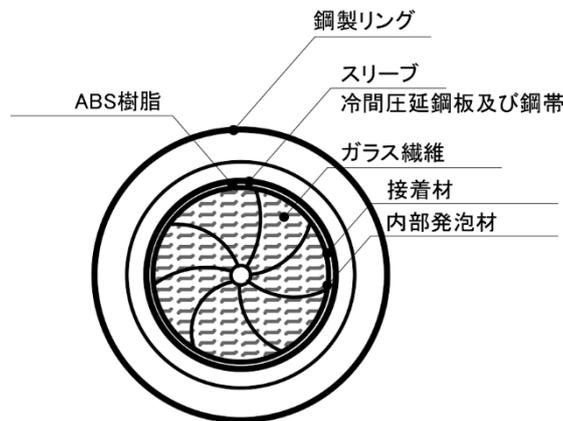
項目	仕 様	
スリーブ	材料	材料に関しては社外秘とさせていただきます。
	径	112.6 $\pm$ 1.1
	内部発泡材の組成(質量%)	組成に関しては社外秘とさせていただきます。
	使用量	貫通部 1箇所あたり 1個
鋼製リング	材料	冷間圧延鋼板及び鋼帯 ・規格 JIS G 3141 ・材厚 0.6 $\pm$ 0.06 ・径 170
	使用量	スリーブ 1個あたり各面 1枚ずつ
ゴムガスケット	材料	エチレンプロピレンゴム ・材厚 1.5 $\pm$ 0.15 (一般部) 4.0 $\pm$ 0.40 (外縁部) ・径 170
	使用量	スリーブ 1個あたり各面 1枚ずつ

4. 構造説明図

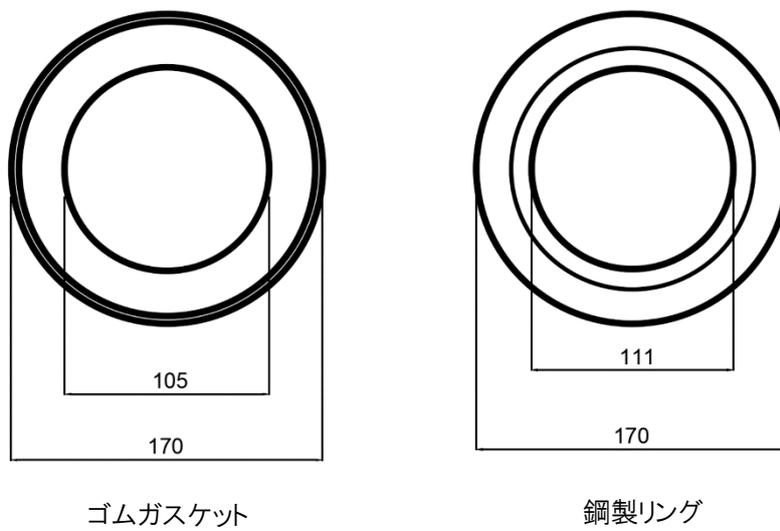
(寸法単位：mm)



正面図 1



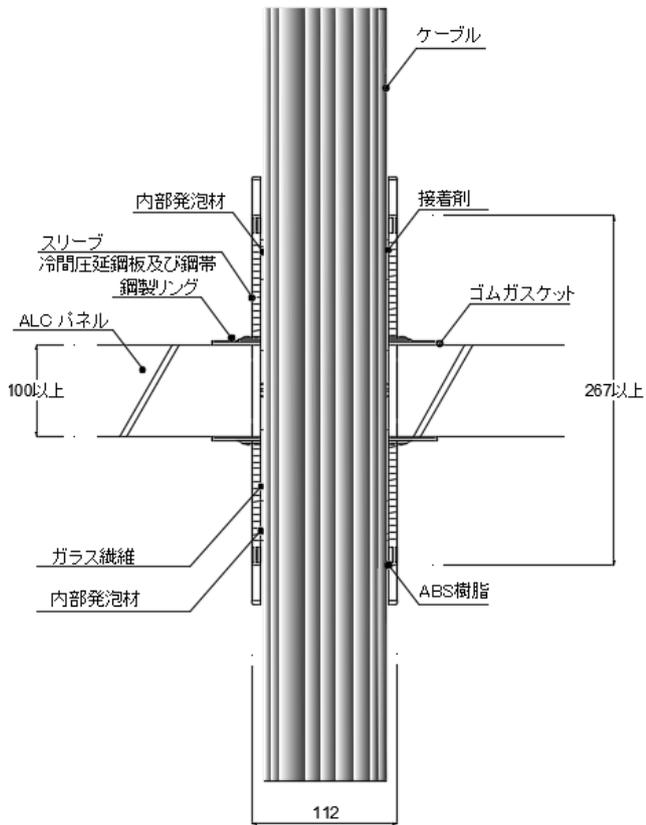
正面図 2



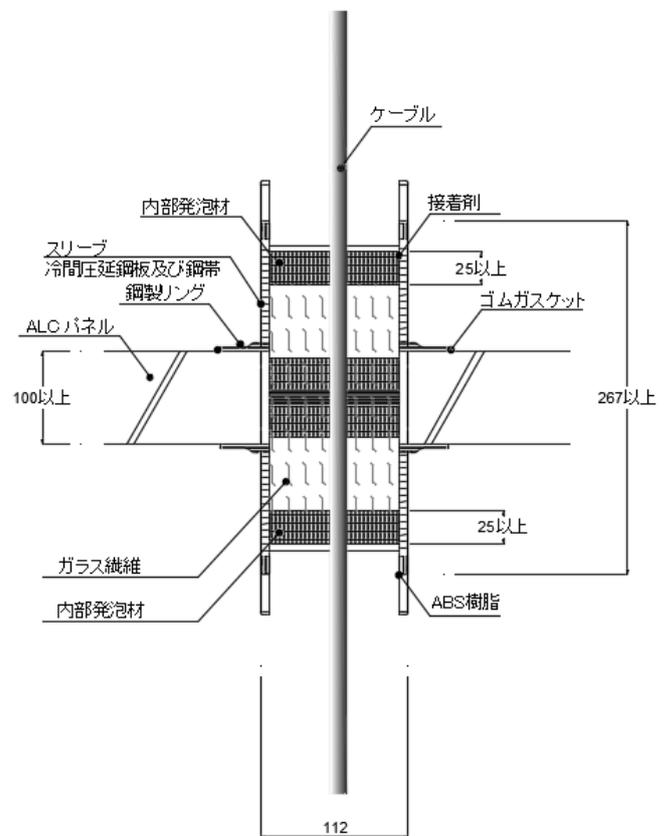
正面図 3

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

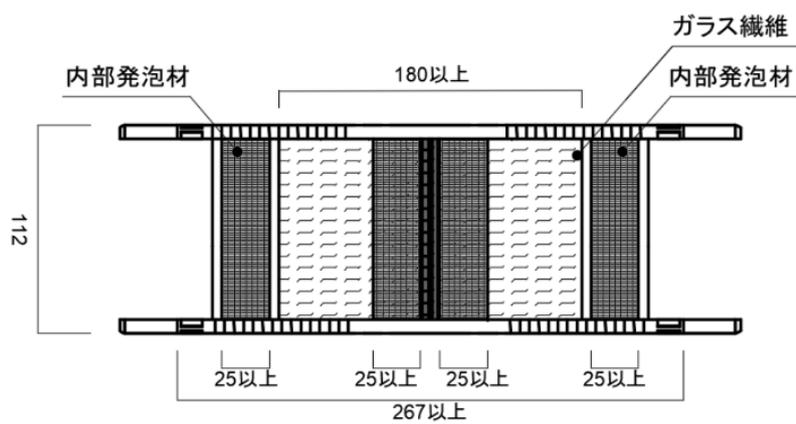
(寸法単位：mm)



断面図 1



断面図 2



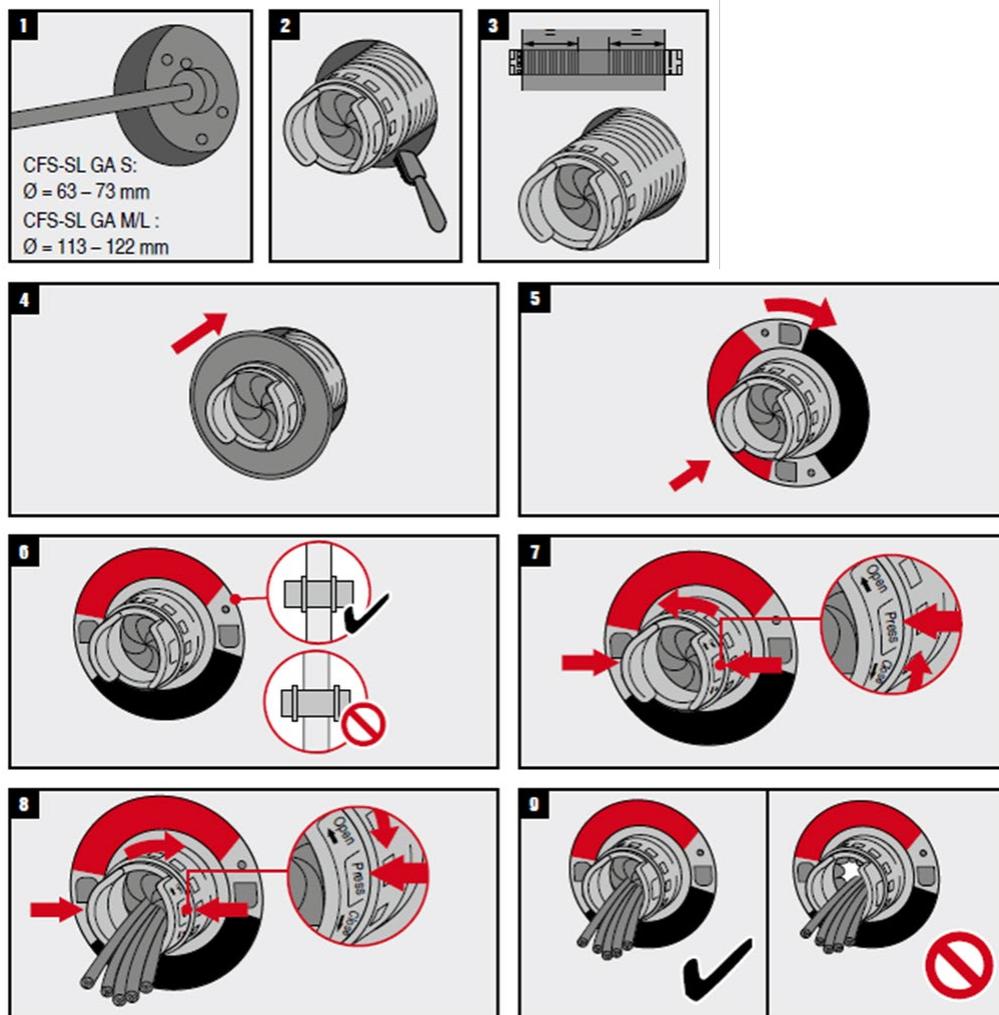
断面図 3

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

## 5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

1. 床に規定の寸法の孔を穿孔する。
2. 床面の貫通部周りのほこり・ごみ等を除去する。
3. スリーブを貫通部に設置する。
4. ゴムガスケットを床の両側から電線管に装着する。
5. 鋼製リングを床の両側から設置し隙間無く適切に締結されていることを確認する。
6. ABS樹脂に設けられたロックを解除しながらガラス繊維の絞り口を開く。
7. ケーブル等をスリーブに通線させ、絞り口を右回転させ隙間が見えなくなるまで閉める。
8. 貫通部が適切に閉鎖されていることを確認する。



### ※注意事項

本構造に使用されるアクリル系樹脂混入熱膨張性シートについては、耐久性に留意し、所定の防火上の性能が維持されるよう、納品時には仕様寸法の確認を行い、保管時には湿度や直射日光を避けるなど適切に保管する。